日刊建設通信新聞（2026 年 9 月 16 日付 3 面掲載）
【アサノ大成基礎エンジ　若手技術者がベトナムで研修】

若手技術者がベトナムで研修

アサノ大成基礎エンジ

アサノ大成基礎エンジニアリングの若手技術者2人が6月にベトナム・ハノイを訪れ、海外ＯＪＴ（職場内訓練）研修を行った。オンラインの社内イベント「海外活動報告会」で報告した。

同社は、中期経営計画で海外事業の強化を掲げており、グローバルに活躍できる人材の育成を推進している。若手技術者2人はそれぞれ、参加した研修先プロジェクトの概要を説明した上で、ＯＪＴを通じた体験や感想、ハノイでの経験などを発表した。共通言語が英語だったことから、自分の意思や考えを相手に確実に伝える重要性を感じ、シンプルで分かりやすい資料作成をこれまで以上に意識したという。ただ、円滑なコミュニケーションを図るためには、英語力のさらなる向上が必要であるとの認識を報告した。

一方で、現地では英語だけでなくベトナム語の資料を読み解く場面もあり生活面でも英語が通じないケースを経験し、プロジェクトを円滑に進めるためには現地言語への理解も重要であることが共有された。「海外プロジェクトには各分野のエキスパートがそろっていることを肌で感じた」とし、国内業務を通じた技術研さんや経験、調査などで得られる洞察も含めた知見を深めたいという意欲を示した。